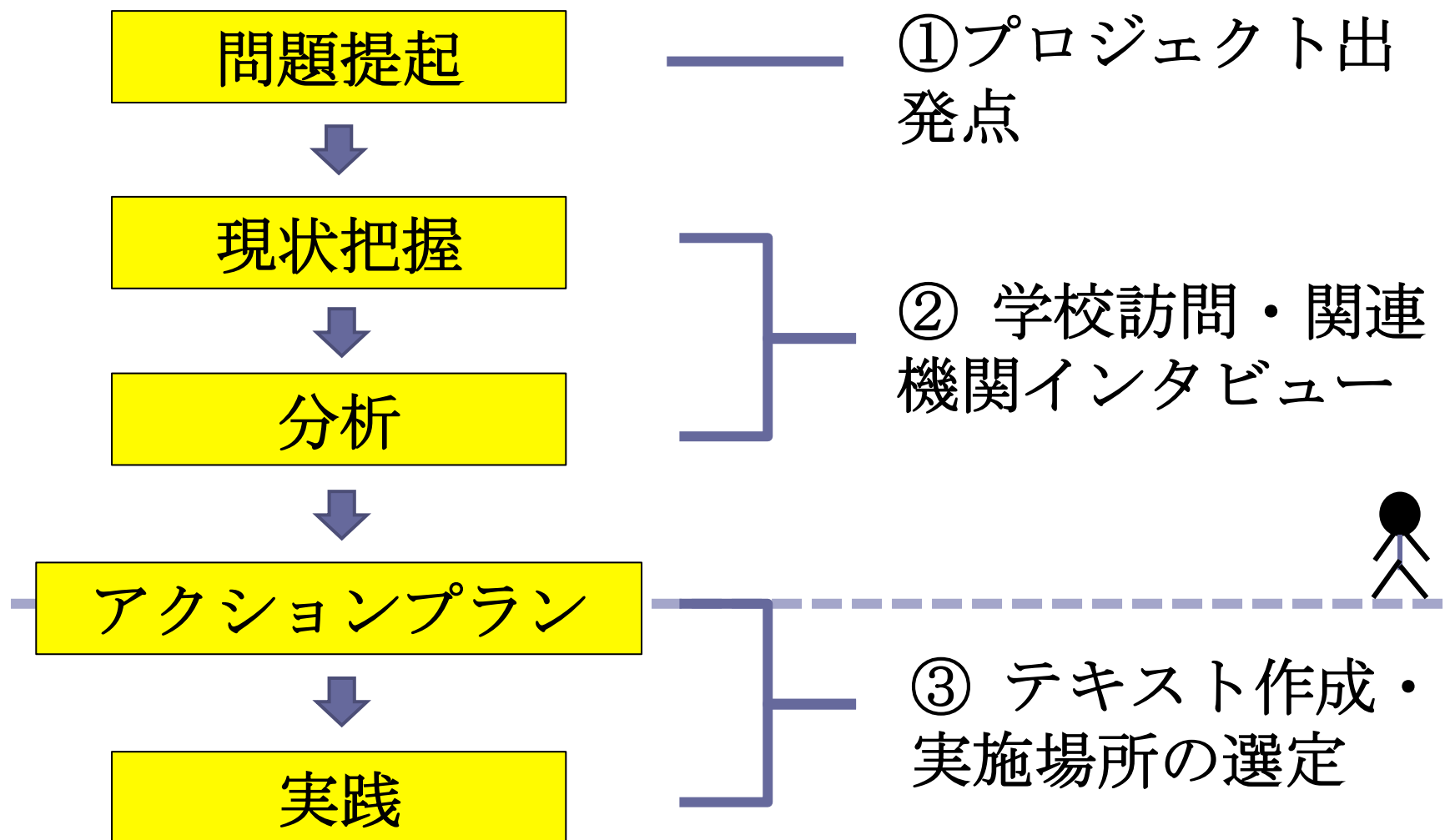


ビジネス支援プロジェクト

- 26-1 古岡繭（コミュニティ開発・ンゴマ郡庁）
- 26-2 石井貴幸（コミュニティ開発・カヨンザ郡庁）
- 26-3 藤原俊介（コミュニティ開発・ブゲセラ郡庁）
- 26-1 吉永紀子（服飾・ルワブイエVTC）
- 27-1 郡司紗織（稲作・キレヘ郡庁）

プロセス



問題提起

コーペラティブ

- ・ マネジメント不足
- ・ 強い組織って？
- ・ 将来に対するビジョンがない

職業訓練校・実業高校

- ・ 技術はあるけど…
- ・ 授業が実践的じゃない！
- ・ 雇用全般に関しては
No touch

若者

- ・ 雇用機会の不足
- ・ 担保がなくローンが借りれない
- ・ ビジネスノウハウがない



JICAボランティアとしてビジネススキル向上のためのサポートをしよう！

現状把握

	学校	関連機関
訪問地	<ul style="list-style-type: none"> ルワブイエ職業訓練校 @Huye カヨンザ職業訓練校 @Kayonza Agape セカンダリースクール @Ngoma 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス振興アドバイザー(BDA)@Kibungo sector Akazi kanoze office
内容	<ul style="list-style-type: none"> Entrepreneurship授業見学 指導教員、生徒に対するインタビュー 	<ul style="list-style-type: none"> WS内容や業務上の問題点についてのインタビュー WSやテキスト作成の際の留意点

写真



ルワブイエ職業訓練校@Huye

学校概要

- ①生徒数180人
- ②洋裁、溶接、建設、電気、理容、大工、調理の7コース

	現状	問題点
システム	<ul style="list-style-type: none"> • インターン先や就職斡旋は行っていない • Akazi kanozeのプログラム実施 	
生徒	<ul style="list-style-type: none"> • 英語についていくのが困難 • 会計、税金関係の話が難しい • 関連機関（銀行や郡庁）の役割は知っている 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の理解度に大きな差が出てしまう
指導教員	<ul style="list-style-type: none"> • 実社会でのビジネス経験はない • プログラムに沿ったテキスト・指導書を用いて授業を行う • 座学が中心になってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> • 実務的なことは教えることができない？ • 集中力が続かない

カヨンザ職業訓練校@Kayonza

学校概要

- ①生徒数120人、講師10人
- ②ホテル、洋裁、溶接の3コース

	現状	問題点
システム	<ul style="list-style-type: none"> • インターン先は学校側から斡旋している。受入先にはお金を払う • 就職についての斡旋は行っていない 	
生徒	<ul style="list-style-type: none"> • 英語についていくのが困難 • 会計、税金関係の話が難しい • 関連機関（銀行や郡庁）の定義は知っているが、使い方は知らない 	<ul style="list-style-type: none"> • 理解度に差が出てしまう • 実際に利用する時に困るのでは？
指導教員	<ul style="list-style-type: none"> • 先生自ら授業の教材を作成 • 大学でEconomic, Entrepreneurshipを専攻 	<ul style="list-style-type: none"> • 職業訓練校においてテキストに統一性がない

アガペ Secondly school@Ngoma

学校概要 ①生徒数200人

	現状	問題点
システム	<ul style="list-style-type: none"> • Saving groupの存在。実践的に帳簿記入、貯蓄の重要性が学べる • 指定教材などは存在しない 	
生徒	<ul style="list-style-type: none"> • テキストがない、先生の板書をただノートに書き写す • 生徒達の集中力が続かない 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の中でのアクティビティが少ないと生徒も飽きるのでは？
指導教員	<ul style="list-style-type: none"> • 同学校で4年の指導歴、大学時代には経済,経営,Entrepreneurshipを専攻 • 先生自ら授業の教材を作成 	

関連機関①

Akazi Kanoze事務局

事業概要

期間	2009年～継続
支援内容	<ol style="list-style-type: none">1. 若者が経済機会を得られるためのスキルの提供<ul style="list-style-type: none">• 会計・ビジネスプラン等のビジネス知識のみならず、目標設定、職場での振る舞い、健康・安全管理も含んだ全8回の授業の実施• 英語・キニアルワンダでのテキスト・指導要領の作成2. 若者を支援する組織のキャパシティビルディング
対象	<ul style="list-style-type: none">▫ ドロップアウトした若者▫ 職業訓練校・セカンダリースクールの生徒（2012年より）

強み

- 実践的なアクティビティの導入
 - 教育機会を逃した人に対しても現実に沿った理解の促進
- “Peer Study”
 - 対象者と同じ境遇にあったような若者に経験を話してもらい、対象者のマインドセットを変える試み

弱み

- 国の政策「国家雇用計画 (National Employment Program: NEP)」との連携不足
- 英語でのテストの実施 (同カリキュラム導入校の話より)
 - 英語が出来ない生徒の点数が低い、フォローなし

関連機関②

ビジネス振興アドバイザー (BDA)

事業概要

背景	国家雇用計画 (National Employment Program :NEP)政策の下、2014年より全セクターに各2名ずつ配置
支援内容	<ul style="list-style-type: none">□ ビジネスプランの作成支援□ その他書類作成、マーケティング、マネジメント等ビジネスに関する支援□ 若者・女性に対する仕事創出のための研修□ 協同組合に対する法人格取得支援□ 支援を実施した人のモニタリング
対象	<ul style="list-style-type: none">□ 各セクターの全住民

強み

- **ビジネス支援へのアクセスの向上**
 - 各セクターに**2名**ずつ配置されているため、市民が支援にアクセスしやすくなった
 - **Ex.** 話を聞いた**BDA**は、月に約**20人**の顧客を得ている

弱み

- **給与形態**
 - 月々定額ではなく、支援したビジネスプランの額等、行った仕事量によって支払われる
 - そのため、モチベーションが保ちにくく、兼業をしている人が大半
- **研修の頻度**
 - 国の依頼によってのみ研修が開催されるため、頻繁に開催されない

分析

〈問題点〉

・テキストの有無

・カリキュラムがバラバラ

・授業が英語で進む

・座学が多い

・生徒の集中力が足りない

・プラクティカルじゃない

・指導教員のバックグラウンドがバラバラ

〈解決策〉

最低限のビジネス知識を盛り込んだテキストをキニアルワンダ語で作成

実践的に理解できるようなアクティビティを準備

教員同席でWSを進める

プロジェクト概要

仮説： 持続可能なビジネスの立ち上げ・ビジネススキルの向上のために現地語でのテキスト作成及び利用・アクティビティを盛り込んだWSの実施が有効である

※対象者： VTC生徒、コーペラティブメンバー・ドロップアウトした若者

※期間： 半年（2015年10月～2016年3月）

アクションプラン

①テキスト

政策,組織概要

- 国の政策 (Ex.NEPとは)
- BDA,BDF,銀行の役割

組織論

- 内部統制・リーダーシップ
- チームビルディング

マーケティング,会計

- 4P,差別化戦略
- ビジネスプラン作成,損益分析

②アクティビティ

①**Peer-Study** 成功例や失敗例の共有 (外部講師を招く)

②自己啓発セミナー

③ビジネスプランの発表会

④実際にやってみる

- **Saving group**の活動
- 家庭でのビジネス

...

プロジェクトスケジュール

	10	11	12	1	2	3
活動	2015年			2016年		
テキスト作成	■					
試験的なWSの実施		■				
テキスト・WS内容の修正			■			
VTCでのWSの実施				■		
テキスト・WS内容の修正				■		
各任地でのWSの実施・フォロー					■	

拡大・波及



コーペラメンバー

農家

対象校の拡大

相談したい点

1. プロジェクトの設計の仕方
2. 関係機関との関わり方
3. プロジェクトの波及・拡大の仕方
4. テキスト・WSの作成の仕方